

(様式3)

## 目標達成計画

事業所名 グループホームつくしんぼ

作成日: 平成 28 年 5 月 26 日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12-2	(急変や事故発生時の備え) 消防署で開催される救命講習に全職員が一度は参加しているが、施設内での同様の訓練等は行えていない。事故発生時および急変時の対応手引書はあるが、実際の応急手当等の手技には不安を抱える職員が多い。	(夜勤を行う)常勤の全職員が、緊急時の対応を落ち着いて行える。 あるいは、速やかに必要な連絡・通報をし指示のもと適切な対応が行える(医療的な処置を実際に行えるかどうかは経験に左右されることもあり、また、『その場で全て夜勤者が処置できなければならない』ということになると職員の心理的負担も大きい為)。	年間の職員研修計画に盛り込み(別紙参照)、定期的な訓練を行う事により手技の習得と自信の構築を図る。	6ヶ月
2	13	(災害対策) 災害時には管理者および事業部長による指揮を想定しているが、具体的な行動を記したマニュアル等は整備されていない。火災時の避難誘導方法について、人員の少ない夜間を想定した訓練(緊急連絡網を使用し実際に自宅から応援に駆けつけるなど)が課題である。	①事業所としての災害対策マニュアルの策定。 ②すべての職員(常勤・非常勤問わず)が2階から1階への避難誘導訓練を受け、非常時に落ち着いて行動できる。	①災害対策マニュアルを策定し訓練と見直しを継続して行ってゆく。 ②年2回の総合訓練だけでなく、避難誘導訓練(2階から1階への)を1回/2ヶ月行い、円滑な避難誘導方法の習得を図る。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月